

施策マネジメントシート

施策名	行政評価	ごみの発生抑制と再資源化の推進	施策統括課	ごみ減量課	氏名	加藤 登志雄
政策名	施策体系	まちをつかう	施策関係課	産業振興課		

1 施策の目的と指標

対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等

- ・市民
- ・事業者
- ・廃棄物

意図(対象をどう変えるのか)

- ・EPRを柱として発生を抑制する
- ・環境負荷の少ない循環型社会を実現する
- ・適正に処理される

対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 人口	人
イ 事業者数	事業者
ウ 一般廃棄物発生量	t
エ	

成果指標(意図の達成度の指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 1人1日当たりのごみの総排出量	g
イ 総資源化率(集団回収を含む)	%
ウ 埋め立てごみ量	t
エ	
オ	

2 第2次基本計画期間(平成23~27年度)内における取組内容

体系	具体的な取組内容
EPRを柱とした発生抑制	事業者に対し、容器包装等の自主回収を求めています。また、環境に配慮した商品づくりや販売方法を求めています。家庭ごみの有料化を行い、市民にごみの発生抑制、販売店への返却を求めます。
再資源化の推進	生ごみなどの再資源化の方策を検討します。資源ごみの自己処理ルートを開拓します。
環境負荷の少ない処理の推進	ごみの処分方法を改善し、埋め立てごみ0(ゼロ)を目指します。

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値

		単位	数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
対象指標	ア 人	見込み値	実績値	73,563	73,803	74,251	74,329	74,432	74,265			76,000	
			見込み値										
	イ 事業者	見込み値	実績値	2630(H18)		2,820		2,820	2,820				
			見込み値										
	ウ t	見込み値	実績値			22,798	22,431	22,517	22,625				
見込み値													
成果指標	ア g	成り行き値	実績値				840.0	840.0	840.0	840.0	840.0	840.0	
			目標値				840.0	829.0	818.0	780.7	743.4	706.1	
			実績値	910.3	875.0	839.9	823.5	824.6	830.6				
	基本計画における施策の目標設定の根拠			平成24年度に27年度の減量目標を再設定しました。									
	イ %	成り行き値	実績値				34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0
			目標値				36.5	37.2	37.9	38.6	39.3	40.0	
			実績値	31.5	35.6	35.8	33.8	32.9	32.8				
	基本計画における施策の目標設定の根拠			EPRの推進により新聞、ペットボトル、トレイ等を販売店に返却することを促します。これにより、市の回収率が下がるため総資源化率は下がりますが、生ごみやその他の紙ごみの資源化を積極的に進めています。目標値は、多摩地域の平均(37.6%)より高い水準の40.0%としました。									
	ウ t	成り行き値	実績値				50	50	50	50	50	50	50
			目標値				10	10	10	0	0	0	
			実績値			23	0	0	0.0				
	基本計画における施策の目標設定の根拠			埋め立てごみの処分方法改善により0tを目標としました。									
	エ	成り行き値	実績値										
			目標値										
			実績値										
基本計画における施策の目標設定の根拠													
オ	成り行き値	実績値											
		目標値											
		実績値											
基本計画における施策の目標設定の根拠													
事務事業数		本数		18	18	19	19	19	19				
施策コスト	事業費	国庫支出金	千円	24,825									
		都道府県支出金	千円										
		地方債	千円										
		その他	千円	1,837	1,680	3,422	1,650	308,378					
		一般財源	千円	1,419,699	1,408,318	1,390,732	1,384,106	959,177	1,190,795				
	事業費計(A)	千円	1,446,361	1,409,998	1,394,154	1,385,756	1,267,555	1,190,795	0	0	0		
	人件費	延べ業務時間	時間	58,116	57,066	56,023	53,637	44,625	46,865				
	人件費計(B)	千円	263,723	262,838	253,898	256,887	212,727	220,030					
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,710,084	1,672,836	1,648,052	1,642,643	1,480,282	1,410,825	0	0	0		

4 施策の現状

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?

- ・対象者はほぼ横ばいである。
- ・平成25年4月に小型家電リサイクル法が施行されるなど、再資源化の傾向が強まっている。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

- ・家庭ごみの有料化には賛否両論がある。なお、財政改革審議会の中間答申では有料化の方向が示されている。
- ・ごみの減量に向け、市はもっと啓発に力を入れるようにとの意見がある。

5 24年度の評価結果

(1) 24年度行政経営方針の取組状況

24年度行政経営方針	取組状況
ここ数年、ごみの発生抑制及びEPR(拡大生産者責任)を柱とした施策を展開してきた。引き続き、ごみの発生抑制及びEPRを推進していくとともに、適正処理を確保するため事業者に対する指導を徹底していく。また、第2次基本計画の数値目標としていた埋め立てごみ量ゼロ(平成22年度実績)を達成したことから、引き続き維持していくよう取り組んでいく。	<ul style="list-style-type: none"> ・全事業所を訪問し、ごみの減量と有料袋の使用を広報した。 ・50戸以上の集合住宅を訪問し、ごみの減量と資源物の集団回収を広報した(4団体増)。 ・循環型社会形成推進基本計画の第2期目標を設定した(可燃ごみの20%減)。

(2) 施策の成果実績把握と評価

成果指標目標値達成度(目標値と実績値との比較)

成果指標ア [1人1日当たりのごみの総排出量]

□ 24年度目標値を達成 未達成 (□ 23年度実績値と比較し成果向上・維持 23年度実績値と比較し成果低下)

成果指標イ [総資源化率(集団回収を含む)]

□ 24年度目標値を達成 未達成 (23年度実績値と比較し成果向上・維持 □ 23年度実績値と比較し成果低下)

成果指標ウ [埋め立てごみ量]

24年度目標値を達成 □ 未達成 (□ 23年度実績値と比較し成果向上・維持 □ 23年度実績値と比較し成果低下)

成果指標エ []

□ 24年度目標値を達成 □ 未達成 (□ 23年度実績値と比較し成果向上・維持 □ 23年度実績値と比較し成果低下)

成果指標オ []

□ 24年度目標値を達成 □ 未達成 (□ 23年度実績値と比較し成果向上・維持 □ 23年度実績値と比較し成果低下)

時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上)~E(かなり低下)

D:成果がどちらかと言えば低下した

他自治体との成果の比較 A(かなり高い)~E(かなり低い)

D:他自治体と比べてどちらかと言えば低い成果水準である

背景として考えられること

- ア...生ごみの資源化工場の操業停止などによりごみ量が増加した。
- イ...EPRの推進により資源物の行政回収が減り、総資源化率も低下傾向にある。
- ウ...収集後の分別により、一部の焼却を除き不燃ごみはすべて資源化を実現している。
- ...1日1人当たりのごみ量が増えた。
- ...1日1人当たりのごみ量が多摩26市中、17位である(平成24年度)。

(3) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等)

- ・ごみ量が増えているが、生ごみ資源化工場の操業停止や景気の動向による影響がある。
- ・事業所や集合住宅の訪問は、従来になかった取り組みである。

6 施策の課題・今後の方向性

- ・駅頭等や自治会の集まりなど、より市民にアピールする手段でごみ減量を広報する。
- ・平成24年度に計画の目標を改定したが、目標達成に向け重点施策とその展開方法を検討する。